

日本一の高橋

長野縣道路主事 小山平内

長野縣に於ける温泉地の内、上高井郡山田村地籍山田温泉は、古來縣内有名な温泉なるも交通の便悪しき爲未だ縣外の浴客を招致すること能はざりしが、信越線屋代驛より分岐する地方鐵道河東線の開通と共に交通の便漸く開けたり、然れども小布施山田間の府縣道は未だ自動車の運行に安全ならざる地點あり、又須坂山田間の府縣道は終點に近き地點に不完全なる假橋ありし爲め、自動車の運行を阻められ交通の不便を唱ふること久しかりき、茲に於て此の橋梁を完全にし又連絡道路を改良するの計畫を樹て、關係町村亦工費の半額以上を寄附し大正十三年八月實地に工を起してより滿一年本年七月を以つて竣功を告げたり。

本橋架設の位置は千曲川支松川の流路溪谷深く斷崖の地點に在り、最も景勝の位置を占むるが故に地勢に適應せし

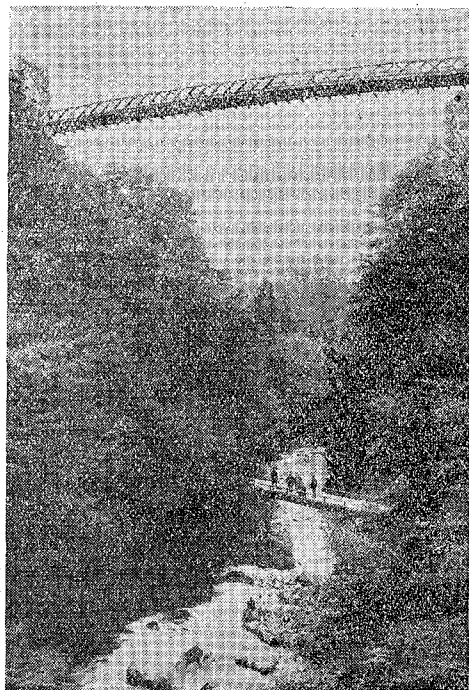
むると共に景勝地の對照を考慮し其の構造を吊橋と爲せり橋梁全長四十一間三尺、實用幅員十二尺、塔柱の高三十四尺五寸、橋臺の高は右岸二十五尺、左岸三十七尺にして總て鐵筋コンクリート造と爲せり幹線は八番鐵線三百七十本を結束したるもの、釣線は同じく九本を結束せるものを使用せり、水面より橋面迄の高さ實に百六十八尺にして本邦内他に其の比を見ざる高橋なりとす（寫眞參照）

橋梁前後の連絡道路の延長百六十五間四分、幅員十八尺、最急勾配十分の一なり、橋梁工費三万二千四百五十二圓、道路費九千五百五十一圓、雜費千四百六十七圓合計四千三百七十圓にして内地元寄附金貳萬四千三百三十三圓なり。

本年七月十日知事臨場して竣工式を擧げたるが、地元高井村山田村にては盛なる祝賀會を催し時偶々雨天なりしに

も拘はらず遠近より集まる者頗る多く地方稀に見る盛況を

本橋の完成に依り自動車の運行に支障なきを得たるが爲め、山田温泉の浴客のみならず附近一帯自然の大遊園地た



極めたり。

る風光を觀賞する者遽かに増加し以前に倍加するの狀況を呈せるに至れり。